

# 災害救援活動の概要

資料提供団体名：(社) 日本重症児福祉協会

## 1. 被災状況の確認

- (1) 福祉施設等の事業所の被害状況の調査を（①行った）
- (2) 確認状況

	青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、千葉県
どのような施設、事業所を対象にしたか	上記当該県の（会員の）重症児施設
① 調査対象の総数	18施設
② 調査をした事業所数	18施設
③ ②のうち被害のあった事業所数*	
全壊	なし
一部損壊	6施設
その他	
④ スタッフの被害状況	
死亡	なし
不明	なし
⑤ その他の確認状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・困っていること</li><li>・今、必要なこと</li><li>・他施設が協力できるとしたら何をして欲しいか 等 (以上は、数次にわたって調査確認し、物資等の支援を行なった。)</li></ul> <p>※ 日本重症児福祉協会の対応</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・被災地施設への救援物資等は西日本の施設がこれを行なう。     例 宮城県へは近畿の施設（担当、兵庫・西宮すなご医療福祉）         岩手県へは中四国（担当、愛媛・南愛媛療育）         福島県へは九州沖縄（担当、鹿児島・やまびこ医療福祉）</li></ul> <p>参考：①岩手・みちのく療育園へ愛媛・南愛媛療育センターから 紙オムツ（S、M）各1,000枚 ②福島整肢療護園へ岡山・旭川荘（児童院） &lt;食品&gt;水300本、缶パン48缶、流動食など19点</p>

＜オシメなど＞30枚入りパック 480枚など 4点

＜日用品＞紙皿 2150枚など 2点

原発事故の福島へは岡山・旭川荘（児童院）が対応

参考：福島整肢療護園へ

＜医療材料＞注射器 400本、栄養カテーテル 75本など  
8点

＜日用品＞ペーパータオル 16万枚、トイレトペーパー  
96ロール、子ども用おしりふき 5040枚など  
19点

・福島原発事故に伴う避難（30km）の近隣施設（38km）に対しては、避難が拡大された場合を想定し受入れ施設の調整を行った。

主に、東日本の施設が受入れを担当。

また、厚労省障害福祉課とも連絡をとり合い、動けない重症児入所者の配慮もお願いした。

（参考）

3月17日 18歳未満児2名と18歳以上児1名の計3名を福島県郡山市の福島県総合療育センターへ移動済み。

3月22日 18歳以上児2名を栃木県・なす療育園へ移動済み。

現在、18歳以上児35名については待機中。